

発達支援ってどんなことなの？

令和8年8月1日

那珂こども園

「発達支援」と聞くと、「うちの子はそこまで困っていないから関係ない」と感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、発達支援は困りごとがある子だけのものではありません。

「お友だちとの関わり方を知る」「順番を待つ」「気持ちを言葉で伝える」「苦手なことに少し挑戦してみる」など、子どもたちが毎日の生活の中で少しずつできることを増やしていくお手伝いも、発達支援の一つです。子どもにはそれぞれ得意なことや苦手なこと、成長するそれぞれのペースがあります。発達支援は、「できないこと」を見るためではなく、「その子の力を伸ばすため」の関わりです。

**お子さん一人ひとりが安心して、自分らしく成長できるよう、
ご家庭と一緒に見守っていかれたらと思います。**

発達支援は、大きく分けると次の3つの視点があります。



得意なことを大切に、もっと伸ばそう！！

「好き！」「楽しい！」を大切にして、自信につなげます。

例えば…絵を描くことが好きな子には

♥ いろいろな画材に触れたり、作品を飾ったりして、「もっとやってみたい！」という気持ちを育てます。



② 苦手なことを支えるお手伝い

無理に頑張らせるのではなく、その子に合った方法や環境を工夫して、「できた！」を増やしていきます。

例えば…感覚が敏感で、大きな音や特定の感触が苦手な子

♥ 苦手な刺激を無理に我慢させるのではなく、安心できる環境を整えながら少しずつ慣れていけるように支えていきます。



③ 「困り感」が「できたね！楽しいね！」にかわる環境を整えていく

例えば…何度伝えても座って食べ続けることが難しい子には

♥ 「座って！」と繰り返すだけでなく、座りやすい環境を整えたり、短い時間から取り組んだりして成功体験を積み重ねます。



発達支援は、「困った行動をなくすこと」が目的ではありません。その子が安心して過ごし、自分らしく力を発揮できる方法と一緒に見つけていくことです。これからも、困りごとは「その子からのサイン」と考え、一人ひとりに合った関わりを大切にしていきたいと思います。

